

2014 年度 早稲田大学 法学部 国語解答例

一

[出典]

(古文) 『東関紀行』 (漢文) 李白「長信宮」 『唐詩解』

問一ノ一 ア 問一ノ二 オ 問一ノ三 白髪 問一ノ四 ウ
問一ノ五 オ 問一ノ六 イ 問一ノ七 イ 問一ノ八 エ
問一ノ九 (I) イ (II) ウ (III) ウ (IV) エ (V) ア

二

[出典] 林香里「震災における「ケアのジャーナリズム」」(雑誌『現代の理論』2012春 終刊号掲載)。問題文途中に省略がある。

問二ノ一 A 依存 B 敷衍(布衍・敷衍) 問二ノ二 イ 問二ノ三 ウ
問二ノ四 エ 問二ノ五 オ 問二ノ六 ア 問二ノ七 ア
問二ノ八 イ・カ

三

[出典] 齋藤純一『政治と複数性』。問題文中に一部語句の変更がある。

問三ノ一 イ 問三ノ二 エ 問三ノ三 オ 問三ノ四 ア
問三ノ五 ウ 問三ノ六 ア
問三ノ七

現れの空間とは、他者を「何」であるかという固定化された集合的な表象でとらえるのではなく、行為と意見にもとづいて政治的行為者として他者を判断する空間であり、他者によって代表されない個人の意見の交換を通じて、自らの人格的アイデンティティを能動的に形成する場である。(130字)

[講評]

一が「古漢融合問題」、二、三が「評論」という形式は昨年度と同じ(三は一〇〇字以上の記述を含む)。一の漢文は、昨年度同様漢詩が出題されたが、今年は加えて漢文の解釈文が添えられた。古文は、和歌の解釈(引歌の解釈を含む)を求めている、問一ノ七、問一ノ八がやや難しいかもしれない。

二は、長文だが比較的読解しやすい文章。設問は問二ノ四の選択肢が判別しにくい。三は、抽象度が高く読解が難しい。必然的に、実質文章の要旨のまとめを要求している問三ノ七も難しい。他の設問も選択肢も、選択肢同士の違いが見極めにくかったり、解答の要求のレベルが掴みにくい問題が多かった

2014 年度 早稲田大学 法学部 英語解答例

READING / GRAMMAR SECTION

- I (1) 1-G 2-K 3-I 4-C 5-H 6-E 7-F
(2) 1-E 2-D 3-E
(3) 1-B 2-D 3-B
(4) 1-B 2-D 3-E

- II (1) 1-C 2-E 3-C 4-D 5-D
(2) 1-D 2-A 3-A
(3) -D
(4) 1-E 2-B 3-E

- III (1) -D (2) -E (3) -C

- IV (1) -E (2) -A (3) -C

- V [1] -E [2] -D [3] -H [4] -B [5] -G [6] -F

WRITING SECTION

- VI 1 I sat up all last night working for my paper
2 If only I had begun writing
3 let me have a cup of coffee

VII The chart shows that Japan has the second largest gender gap in earnings after Korea, according to which we can infer that the wage of Japanese women is extremely low compared with other Western countries. This is because, I think, the wage structure of Japanese companies has made light of women's working ability and their achievements. On the other hand, in Western countries, if a person, regardless of gender, does a good job, he or she will receive payment proportional to his or her work.

※コメント

例年通りの出題形式だが、語彙レベルは年々難化している。また、パラグラフごとの要旨を選択肢から選ばせる問題においては、直接に本文パラグラフを縮めたものではなく、本文とは違う言い方で要約しているので慎重さが必要になってきた。文法問題も幅広い知識が求められている。